国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 22 年 5 月 28 日
国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
（電話 03-5572-0233）

第 34 回インドネシア石油協会での最優秀ブース賞の受賞について（お知らせ）

去る 2010 年 5 月 18～20 日にインドネシア共和国・ジャカルタにて開催された第 34 回インドネシア石油協会（IPA : Indonesian Petroleum Association）主催の年次カンファレンスおよび併催展示会において、当社の展示ブース（下記写真）が、出展した石油開発会社 21 社のうち「最優秀ブース賞（石油開発会社部門）」を受賞したことをお知らせします。今回の最優秀ブース賞は、前年に続く連続受賞であり、インドネシアにおいてプレゼンスを高めている当社にとって栄えある結果となりました。

IPA とは、インドネシアで活動する内外の石油会社、政府関係機関、石油作業のサブコントラクターなど 100 以上の企業・団体が一堂に会して開催されるインドネシア石油産業に関する最大級のカンファレンスおよび併催展示会であり、今回は 3,300 名以上の来場者がありました。展示会では、当社がオペレーターとして液化天然ガス（LNG）の開発準備作業を推進するマセラ鉱区アバディプロジェクトが多くの来場者の注目を集めました。特に、当社ブース内で実施したアバディプロジェクトを中心とした事業プレゼンテーションは、多くの来場者で賑わいました。

インドネシアは、当社の事業活動の中核的地位を占め、東カリマンタンマハカム沖鉱区で 50%の権益を保持して原油・天然ガスの開発・生産事業を実施しているほか、オペレーターとして 90%の権益を保有するマセラ鉱区アバディプロジェクトなど、合計 11 鉱区にて探鉱・開発・生産事業を展開しております。

以上

当社ブース

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

IPA クロージングセレモニーにおける
最優秀ブース賞 授与式
（左）：ダルウィン エネルギー鉱物資源相
（右）：太田ジャカルタ事務所長

最優秀ブース賞

当社ブース内プレゼンテーション